



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東  
コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松岡 昌哉 TEL 011-812-1131  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 未定  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,750	19.4	910	236.9	931	221.0	610	191.5
2023年3月期第1四半期	3,977	—	270	—	290	—	209	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	72.20	—
2023年3月期第1四半期	24.77	—

(注1) 2022年3月期第2四半期までは連結業績を開示しておりましたが、2022年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注2) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,935	11,210	66.2
2023年3月期	16,849	10,746	63.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 11,210百万円 2023年3月期 10,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,249	2.4	1,547	17.4	1,605	16.0	1,106	48.5	130.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	8,459,000株	2023年3月期	8,459,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	82株	2023年3月期	82株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,458,918株	2023年3月期1Q	8,458,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における日本経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類され、来日外国人の入国規制が4月29日に終了したことからインバウンド需要が急速に回復、日経平均株価も年初の25,716円から上昇基調となり、6月末には33,000円台に達するなど、日本経済全体に明るい兆しが見え始めました。しかしながら、その一方で昨年2月から始まったロシア軍によるウクライナ侵攻は一向に終息の目途が立たず、この影響を受け世界的に食料やエネルギー価格等は高止まりしており、消費者物価の上昇から実質賃金は今年5月まで14か月マイナスとなるなど今後の景気動向への懸念材料も残っています。

鶏卵相場は、昨年秋から今年4月にかけて全国に広がった鳥インフルエンザ発生に伴い1,700万羽近い採卵鶏が淘汰されたことから高値で推移し、この結果当第1四半期（2023年4月1日～2023年6月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ364円33銭（前年同四半期比117円67銭高）、東京Mサイズ平均は1キロ349円62銭（同135円46銭高）となりました。

鶏卵生産コストの6割を占める飼料価格は、原料となるトウモロコシの豊作予想等から当第1四半期は前期（2023年1～3月）比でトン当たり2千円の値下げとなりましたが、前年同四半期と比較すると依然としてトン当たり1万1千円以上高くなっています。

当社は飼料価格の高騰に対処するため鶏卵販売価格の改定に注力しました。当第1四半期の業績は、千歳農場での採卵鶏70万羽殺処分の影響から販売数量は前年同四半期比で2割弱減少したものの、販売価格の改定により売上高は4,750百万円となり、営業利益は910百万円、経常利益は931百万円、四半期純利益は610百万円となりました。

なお、ロシア軍によるウクライナ侵攻は終結の兆しなく、これに伴う世界的なインフレ傾向には歯止めがかかっておりません。これに加え為替及び今年秋以降の国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況が当社の経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べて86百万円増加し16,935百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて161百万円減少し5,602百万円となりました。これは、主として現金及び預金が356百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が147百万円、その他が336百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて247百万円増加し11,333百万円となりました。これは、主として有形固定資産の建物が188百万円、機械及び装置が254百万円増加した一方で、有形固定資産のその他が246百万円減少したこと等によるものです。

#### ②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べて376百万円減少し5,725百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べて295百万円減少し3,693百万円となりました。これは、主として買掛金が72百万円、1年内返済予定の長期借入金が73百万円、未払法人税等が284百万円、賞与引当金が40百万円それぞれ減少した一方で、その他が220百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて81百万円減少し2,032百万円となりました。これは、主として長期借入金73百万円減少したこと等によるものです。

#### ③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末に比べて463百万円増加し11,210百万円となりました。これは、主として利益剰余金が441百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想については5月12日の決算公表時に発表した業績予想から修正はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,528	2,885
受取手形及び売掛金	1,895	1,747
商品及び製品	104	83
仕掛品	17	11
原材料及び貯蔵品	210	204
その他	1,005	669
流動資産合計	5,763	5,602
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,848	7,036
構築物（純額）	392	423
機械及び装置（純額）	1,063	1,317
車両運搬具（純額）	15	17
土地	1,355	1,355
その他（純額）	418	172
有形固定資産合計	10,093	10,322
無形固定資産	62	59
投資その他の資産		
投資有価証券	436	467
その他	493	484
投資その他の資産合計	929	951
固定資産合計	11,085	11,333
資産合計	16,849	16,935
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,616	1,543
電子記録債務	271	255
1年内返済予定の長期借入金	529	455
未払法人税等	575	291
賞与引当金	115	74
役員賞与引当金	28	—
その他	851	1,071
流動負債合計	3,988	3,693
固定負債		
長期借入金	1,730	1,656
退職給付引当金	156	152
役員退職慰労引当金	91	92
資産除去債務	76	76
その他	58	52
固定負債合計	2,113	2,032
負債合計	6,102	5,725

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055	1,055
資本剰余金	754	754
利益剰余金	8,827	9,268
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,636	11,077
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110	132
評価・換算差額等合計	110	132
純資産合計	10,746	11,210
負債純資産合計	16,849	16,935

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,977	4,750
売上原価	3,234	3,407
売上総利益	742	1,343
販売費及び一般管理費	472	432
営業利益	270	910
営業外収益		
受取配当金	6	6
仕入割引	5	5
受取賃貸料	7	8
その他	3	4
営業外収益合計	23	24
営業外費用		
支払利息	0	1
賃貸費用	2	2
営業外費用合計	3	3
経常利益	290	931
特別利益		
固定資産売却益	—	0
保険解約返戻金	65	—
受取保険金	5	7
補助金収入	—	19
その他	—	1
特別利益合計	70	29
特別損失		
固定資産除却損	29	0
鳥インフルエンザによる損失	—	68
その他	1	—
特別損失合計	30	68
税引前四半期純利益	330	892
法人税等	120	281
四半期純利益	209	610

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。